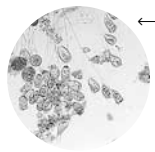




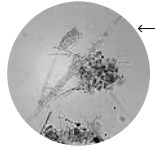
白石区と豊平区の一部から排出される下水を処理します。全ての処理工程がコンピューターで管理されています。

反応タンクで濁っていた水は、「最終沈殿池」で処理されると透明になり、臭いもほとんどなくなりました。

「最初沈殿池」から「反応タンク」に続く水路にはたくさんの下水が流れ、つんとした臭いが鼻を突きました。



← エピステイリス

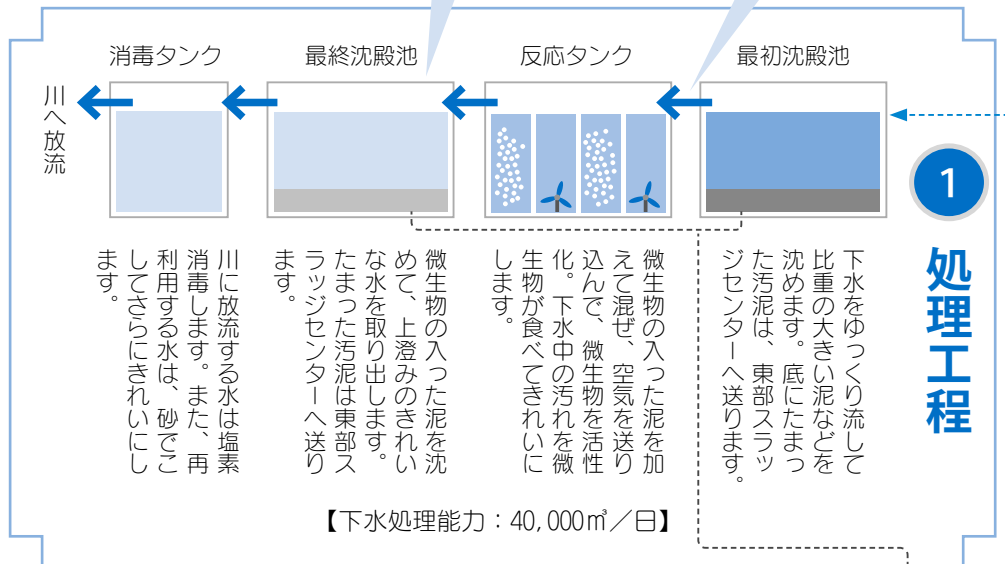


← ボルテイセラ

## 微生物は スゴイ!



水質検査室の顕微鏡で微生物を観察しました。反応タンクの汚泥の中には、微生物がなんと数百種類も！それらが下水中の汚れを食べて、水をきれいにしてくれるそうです。今回観察したのは、比較的多く見られる「エピステイリス」と「ボルテイセラ」です。



## 1 処理工程



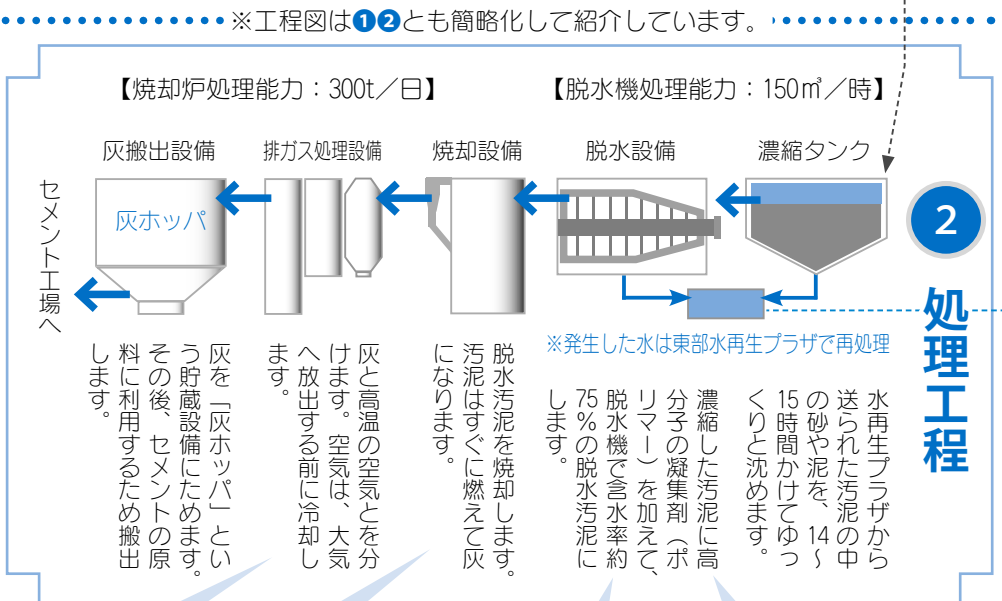
## ☆見学を終えて

微生物の働きもあり、何段階もの工程を経て、水がきれいになりました。川などの環境を守る大切な施設なんです。親子一緒に、普段見られない場所を見学して、貴重な経験になりました。

## 辻野さん親子より

汚泥を焼却してできた灰を、セメントの原料に再利用しているなんて、環境に優しいですね。これからは、無駄な下水を増やさないために、水を節約していきたいです。

## 蒲原さん親子より



## 2 処理工程



焼却棟の室内温度は40度近くにもなります。見たこともない大きな機械がたくさんあって、圧倒されました。



濃縮した汚泥にポリマーを混ぜる実験。砂や微生物が固まって、水と分かれていく様子を学びました。



とても大きな横型遠心脱水機。1分間に約2,000回転の速さで回ります。想像できないスピードです！

